

概要

定例懇談会での意見交換に加え、大学の持つ「知」のリソースを結集し、**SDGsの推進と東京の持続的発展を目的として、都と大学との共同事業を展開**

令和4年度 テーマ

-After TOKYO2020- レガシーの発展による「未来の東京」の実現

- ・昨年、コロナ禍という困難な状況の中で、感染症対策などの危機管理の徹底し、**東京2020大会**を安全・安心に成し遂げることができた。また、大会を通じて、障害の有無・人種・性別などを越えて多様な人々が互いに認め合う共生社会への実感を広げるとともに、環境先進都市のモデルとなる取組や最先端のテクノロジーなど、**東京の多様な魅力を世界に発信**してきた。
- ・今後、こうした、**大会を通じて生み出されたレガシー**を、「未来の東京」のスタンダードとして**社会全体に広げていく**とともに、新型コロナとの闘いで生じた様々な変革、少子高齢・人口減少社会の進行、脱炭素・デジタル化の潮流等を踏まえて、**未来を切り開く取組を加速**するために、“After TOKYO2020”をテーマとして、**共同事業を実施**する。

実施事業数

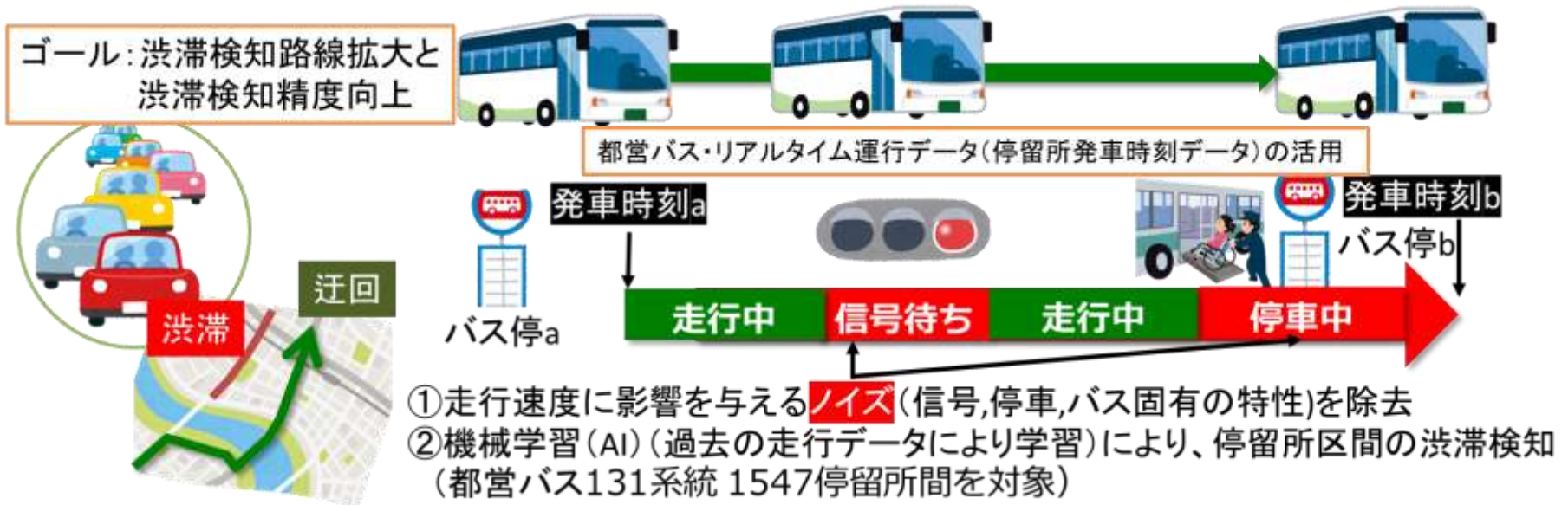
3事業の実施を決定（応募事業数 16事業）

①令和4年度 決定事業の紹介

都営バスのリアルタイム運行データを用いた渋滞検知サービス

(早稲田大学・お茶の水女子大学)

- 都営バスのリアルタイム停留所発車時刻データと機械学習 (AI) を組み合わせて、**新たな渋滞検知サービスを開発**し、WEBサイトで渋滞情報を提供
(既存サービスではカバーしていない地元に密着した一般道路エリアまで検知を拡大)
- 開発した**渋滞検知方法を公開**し、**第三者への技術移転**を目指す
(カーナビやスマホアプリによるルート検索の精度向上に貢献)
- 東京2020大会に向けた**混雑緩和の取組を発展**させ、脱炭素社会実現にも貢献

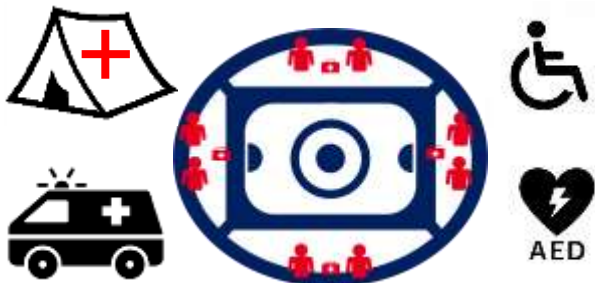


(国士舘大学・中央大学)

- スポーツイベントでの怪我や急病の発生時に適切なファーストエイドを行うことができ、
スポーツボランティアとして活躍できる人材を育成
- VRを活用した育成プログラムを開発し、大学生や高校生など、都民を対象とした講習会の実施
や実践環境の提供を行うほか、スポーツイベント運営者が活用できる救護体制マニュアルを作成
- ボランティア文化の醸成・定着に加え、スポーツを支える人材の育成を通して、
「スポーツ事故ゼロのTOKYO」の実現を目指す

「する」「みる」「支える」を実践し、セーフティスポーツフィールドを構築

救護マニュアル作成と
多様性に配慮した体制整備



多様性を配慮した安全・安心な救護体制

2020TOKYOオリ・パラのレガシー



スポーツ事故ゼロのTOKYO
「安全・安心」を実現する



国士舘大学と中央大学の
教育資源(研究・人材)を活かし活学の提供

スポーツボランティアの育成



若者にボランティア文化の醸成と
応急手当実践

スポーツから日常へ安心・安全の提供

(東京医科歯科大学・東京大学)

- **摂食嚥下障害**がある子供とその親と一緒に楽しめる**インクルーシブフード**を開発
- 子供、親、支援者、企業等を対象とした**試食会**を実施し、**SNSで発信**するとともに、インクルーシブフードを提供する飲食店等を**WEB上のマップ**で紹介
- 障害の有無に関わらず、**誰もが同じように**外出先でも家庭でも、**おいしい食事を食べられる**東京になることを目指す

摂食障害のある子供とその親と一緒に楽しめるインクルーシブフードを開発し、試食会を実施することで、フードマイノリティーに対する理解を促進



※イメージ

将来的に、誰もが同じようにおいしい食事を外食先や家庭で食べられる社会に！

②令和3年度 実施事業の報告

地域参加による換気の可視化向上プロジェクト

令和
3年度

(電気通信大学・東京大学)

- 飲食店・劇場・病院・学校などの**感染防止対策**として、**換気を可視化・向上**
- 事業所の**CO₂濃度**を**WEB上で可視化・分析**できるIoTゲートウェイ「**CO₂ハブ**」を開発し、SNSを活用した**専門家のアドバイス**や事業所間の交流により、**換気のノウハウを共有**
- 「**換気対策ガイドブック**」を作成して公開するとともに、飲食店等の**コロナ対策リーダーへ発信**
- 事業所のCO₂濃度を**リアルタイムで公表**する実証実験として「**換気良好マップ**」を作成

換気対策ガイドブック



換気状態の検証の様子

(ビニールカーテンにより換気が阻害されたケース)



換気良好マップ



「デジタル上野の杜」プロジェクト

令和
3年度

(東京藝術大学・東京大学)

- 文化・観光の拠点である**上野公園エリア**を3Dスキャナーで**点群データ化**
(上野動物園、東京都美術館、東京文化会館等のエリアを一体的に計測)
- アバター**を通じて**散策や会話**を楽しめる**バーチャル空間「デジタル上野の杜」**を公開
- 取得した点群データは、デジタル空間上に東京都を再現することを目指す「東京都デジタルツイン3Dビューア」にも掲載し、**デジタルツイン実現プロジェクトの推進**に寄与



上野公園 さくら通り



上野動物園 東園 (五重塔)



東京文化会館

外国人材との協働コミュニティを創出するための パターン・ランゲージの開発研究と普及推進

令和
3年度


（東京都立大学・早稲田大学） ※懇談会外から社会情報大学院大学も参加

- 外国人材との協働に成功している企業を調査し、**経験則（勘、コツ、ノウハウ）**を収集・分析
- 成功事例に共通する「パターン」を「ランゲージ（言語）」化した「**パターン・ランゲージ・カード**」を作成し、**WEBで公開**
- 職場内での共生に課題を抱える企業等を対象に**ワークショップ**を開催し、実践的な**ノウハウを共有**するとともに、幅広い主体への普及を目指して**動画を公開**
- 東京外国人材採用ナビセンターや東京都多文化共生ポータルサイトと連携したPRを実施

パターン・ランゲージ・カード

No.16

伝える工夫



F. 有効なコミュニケーション

伝える工夫

外国人材とともに仕事をしている。業務の内容などは、日本語で伝えることが多い。

▼ その状況において

言語や言語文化、言語習慣の違いから、意図しないミスコミュニケーションが発生してしまう事がある。

▼ そこで

簡単な日本語を使ったり、ビジュアルを見せたりして、相手の日本語の理解力に合わせたコミュニケーションを取る。

外国人材との協働コミュニティを創出するためのパターン・ランゲージ

No.16

F. 有効なコミュニケーション

オンラインワークショップの様子

外国人材との協働コミュニティを創出するためのパターン・ランゲージ

ワークショップ

グループワーク 13:15-14:40

- 1 これ、ピンときた！
- 2 これ、いいんじゃない？
- 3 これ、もうやってる！
- 4 これ、やってみたい！

ブレイクアウトルームへ移動
各自でPodletにアクセス

全体で分かち合うワーク 14:40-14:55

